

感染症発生動向調査により届け出られた 茨城県における梅毒の概要（2025年第4四半期）

茨城県感染症情報センター

感染症発生動向調査により届出られた茨城県内における梅毒症例の動向について、四半期ごとに情報をまとめ還元いたします。

第1四半期：第1週～13週（2024年12月30日～2025年3月30日）

第2四半期：第14週～26週（2025年3月31日～6月29日）

第3四半期：第27週～39週（2025年6月30日～9月28日）

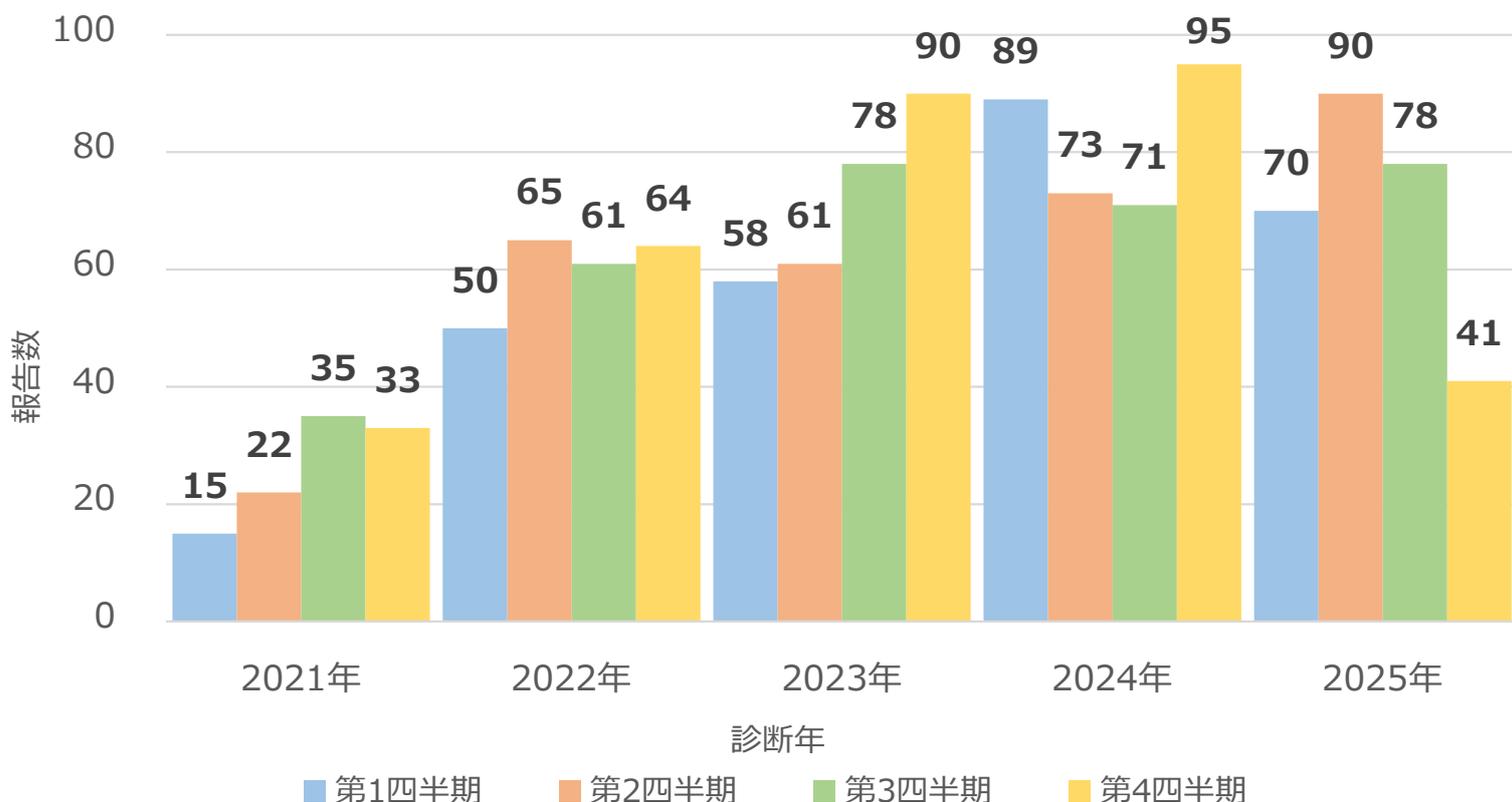
第4四半期：第40週～52週（2025年9月29日～12月28日）

※ 2026年2月13日までに届出のあった報告数のため、以降の遅れ報告は含まず

四半期別 梅毒報告数

- 2025年第4四半期の梅毒報告数は41例と、2022年第1四半期ぶりに50例以下となった
- 2025年の年間梅毒報告数は279例と昨年より49例減少した

茨城県内における四半期別 梅毒報告数（2021年～2025年）



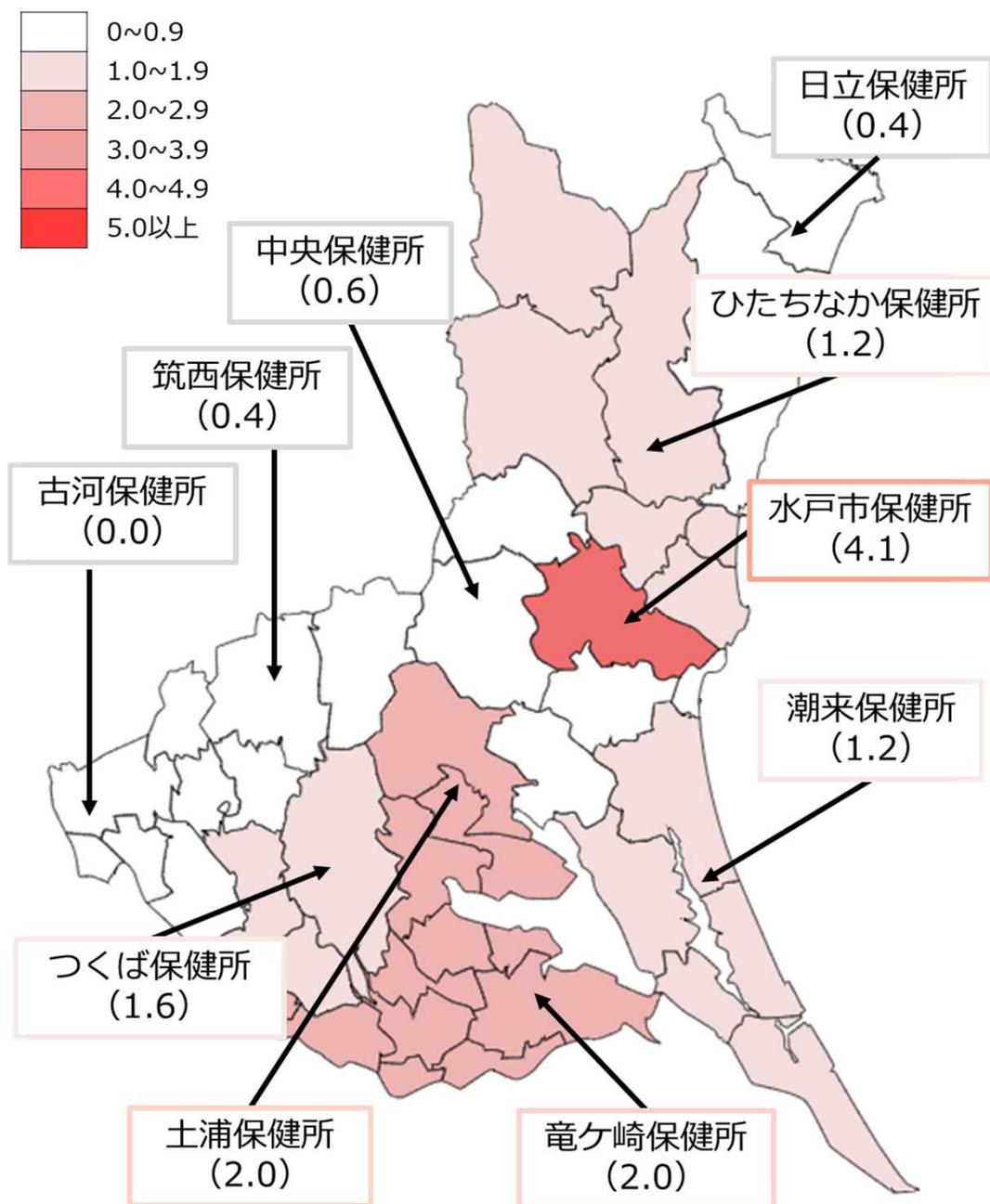
管轄保健所別 梅毒報告状況

- 管轄保健所別の梅毒報告数は、水戸市保健所が11例と最も多く、竜ヶ崎保健所、つくば保健所の順に多かった
- 人口10万人当たり報告数は、水戸市保健所が4.1と最も高かったが、第3四半期以前と比較すると全県的に減少した

茨城県内における管轄保健所別 梅毒報告数（2025年第4四半期9/29~12/28）

	中央	ひたちなか	日立	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	古河	水戸市	計
男	1	2	0	1	4	3	3	1	0	10	25
女	0	2	1	2	5	2	3	0	0	1	16
計	1	4	1	3	9	5	6	1	0	11	41

管轄保健所別 人口10万人当たり報告数（2025年第4四半期:9/29~12/28）

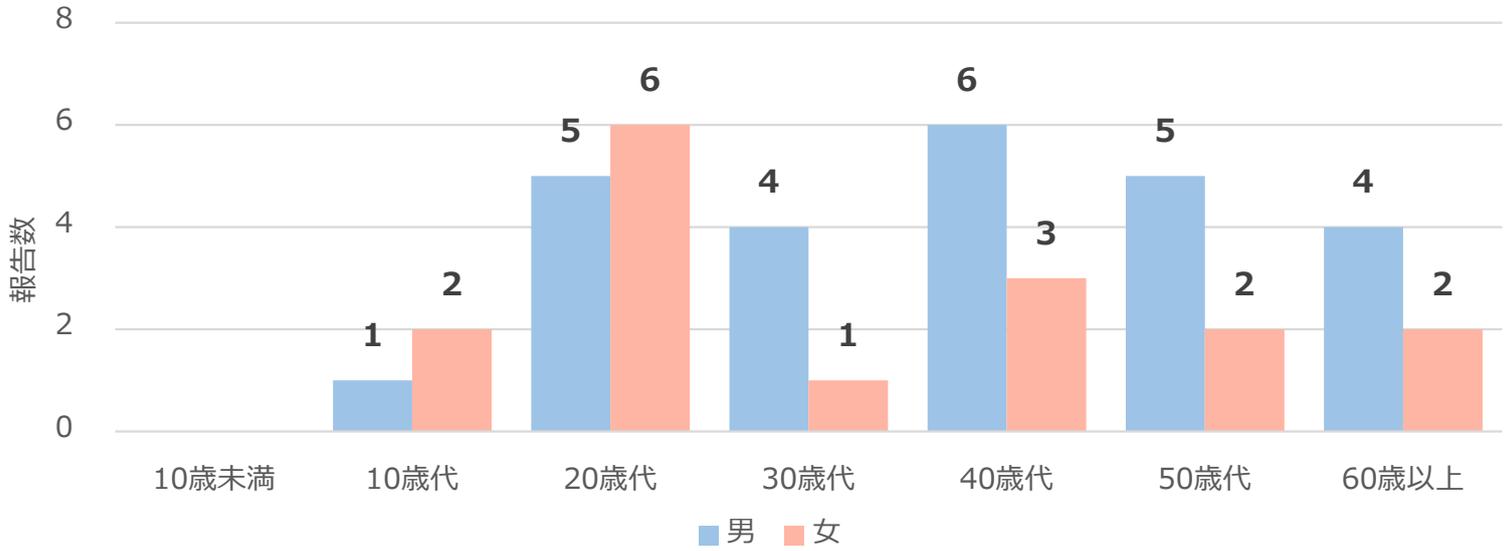


※ () 内は人口10万人当たり報告数 ※ 人口は「茨城県の人口と世帯(推計)2025年1月1日現在」を使用

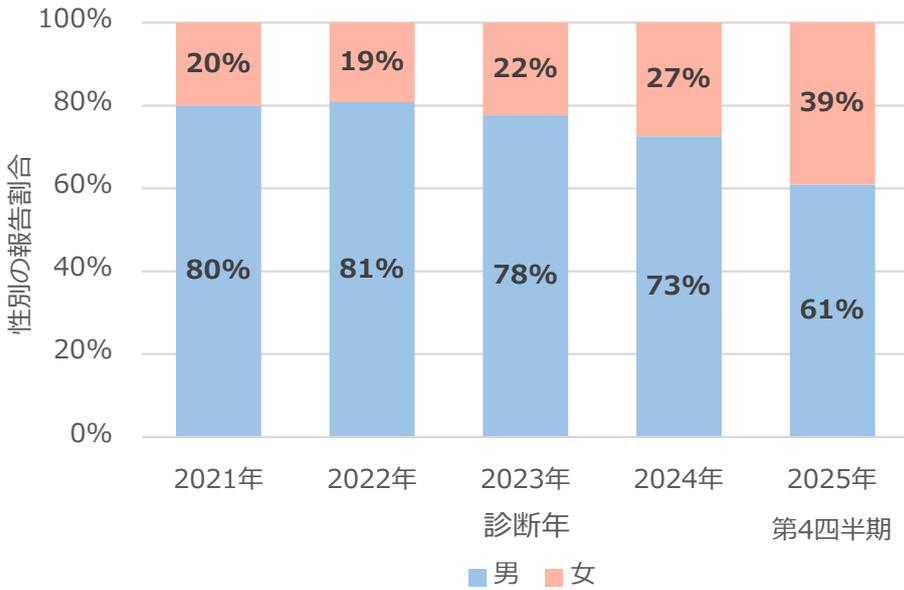
性別・年代別 梅毒報告状況

- 2025年第4四半期に報告のあった梅毒症例は男性（61%）に多く、男性は60歳以上、女性は20歳代が多かった

茨城県内における性別・年代別 梅毒報告数（2025年第4四半期:9/29~12/28）



性別 梅毒報告割合（2021年～2025年）

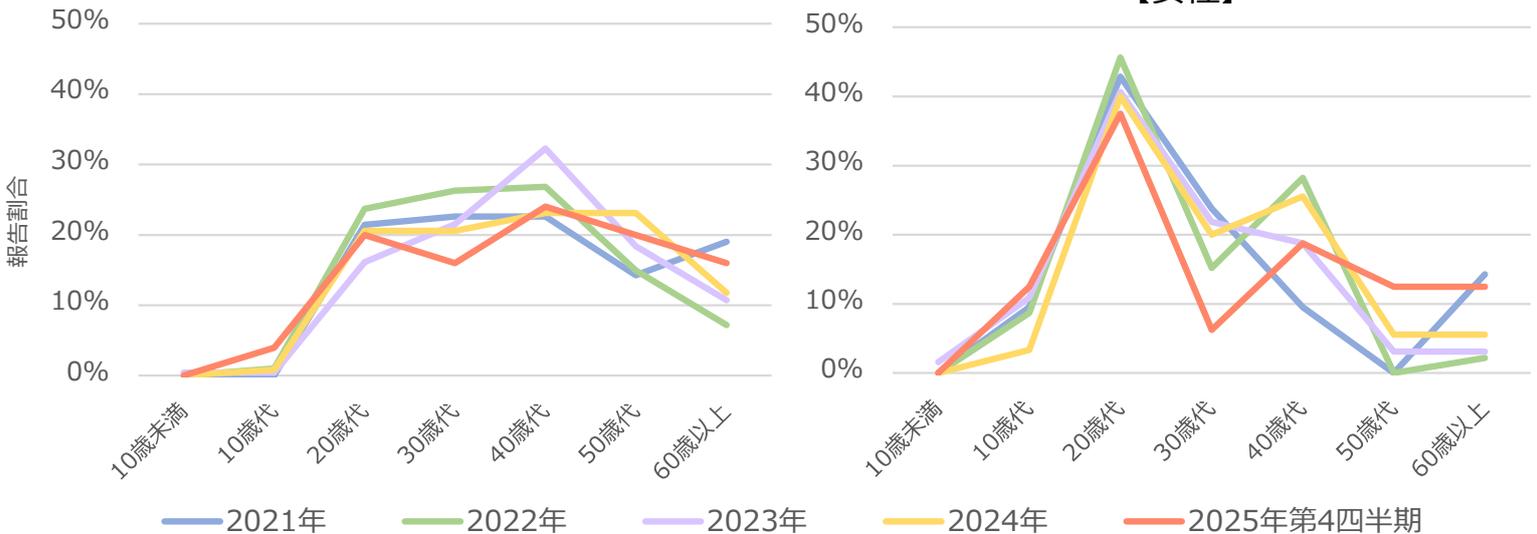


- 2025年第4四半期の性別の梅毒報告割合は、女性が39%と直近5年間で最も高かった
- 2025年第4四半期に報告のあった梅毒症例は、男女ともに直近5年間で30歳代の割合が最も低く、50歳以上の割合が高い傾向にある

年代別 梅毒報告割合（2021年～2025年）

【男性】

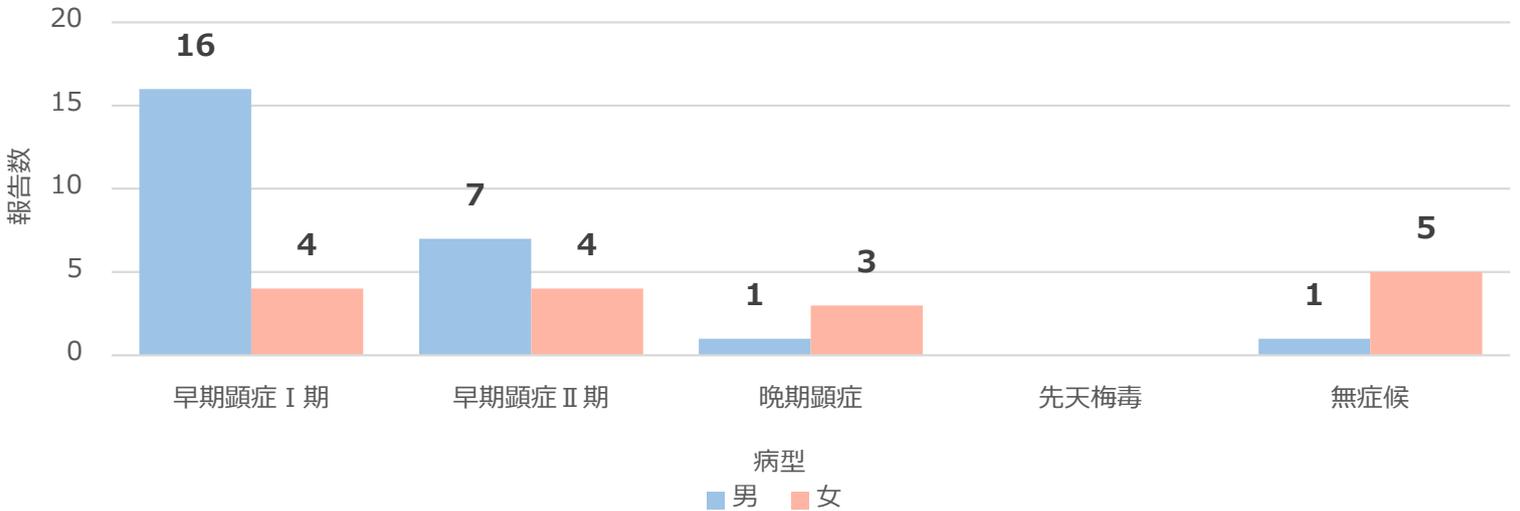
【女性】



病型別 梅毒報告状況

- 2025年第4四半期に報告のあった梅毒症例の病型は、男性は早期顕症Ⅰ期が多く、女性は早期顕症Ⅰ期・Ⅱ期、晩期顕症、無症候がほぼ同数であった

茨城県内における性別・病型別 梅毒報告数（2025年第4四半期:9/29~12/28）



【男性】病型別 梅毒報告数（2025年第4四半期:9/29~12/28）

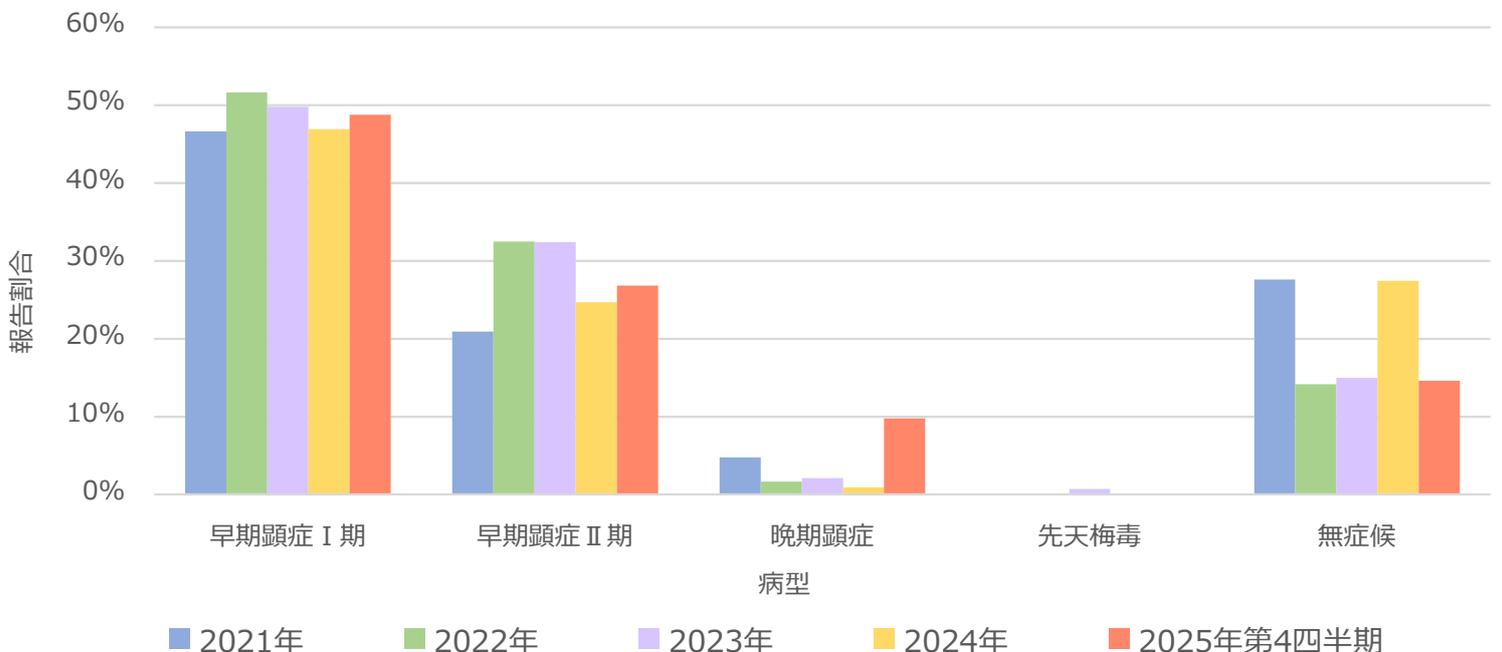
早期顕症Ⅰ期	早期顕症Ⅱ期	晩期顕症	先天梅毒	無症候	計
16(64.0%)	7(28.0%)	1(4.0%)	0(0.0%)	1(4.0%)	25

【女性】病型別 梅毒報告数（2025年第4四半期:9/29~12/28）

早期顕症Ⅰ期	早期顕症Ⅱ期	晩期顕症	先天梅毒	無症候	計
4(25.0%)	4(25.0%)	3(18.8%)	0(0.0%)	5(31.3%)	16

- 2025年第4四半期に報告のあった症例の病型別割合は、昨年と比較すると無症候の割合が減少し、晩期顕症の割合が増加した

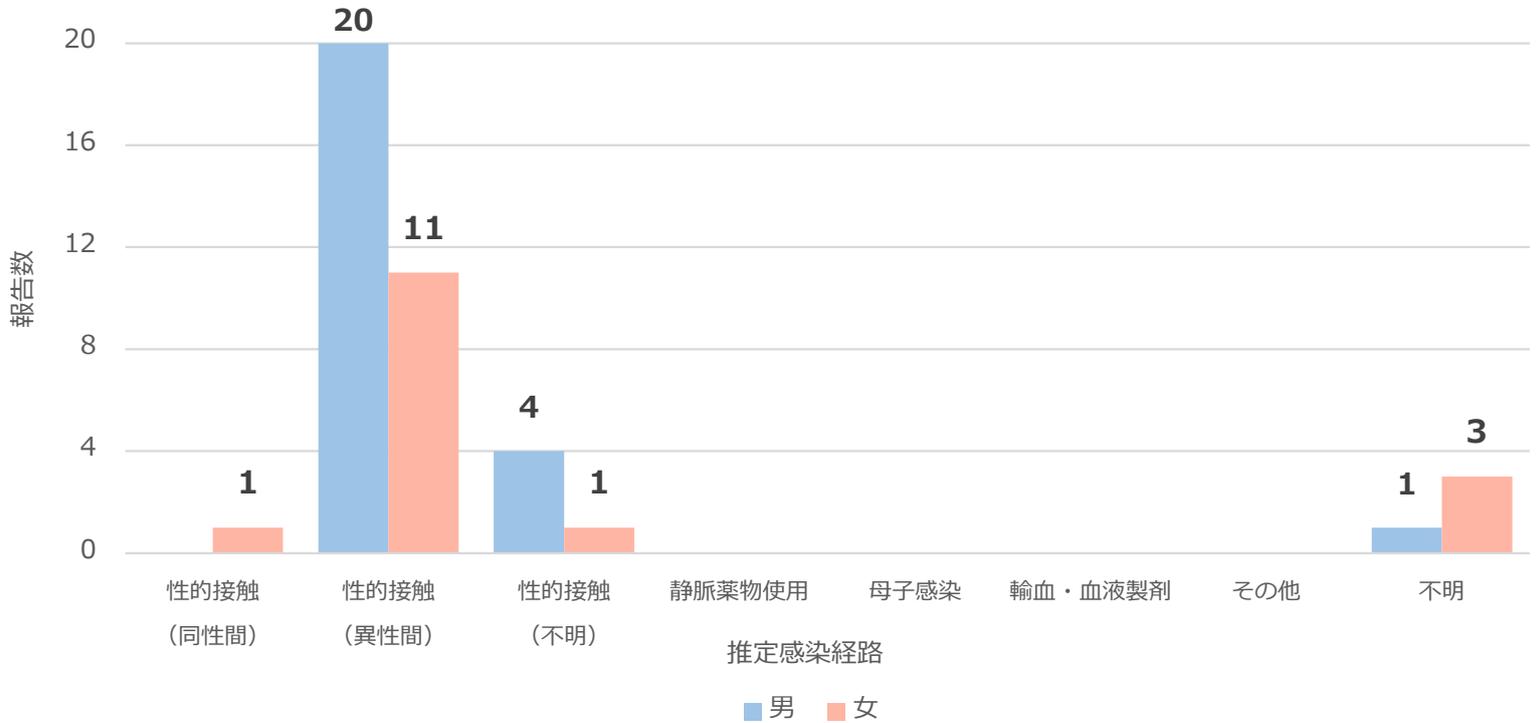
病型別 梅毒報告割合（2021年~2025年）



感染経路別 梅毒報告状況

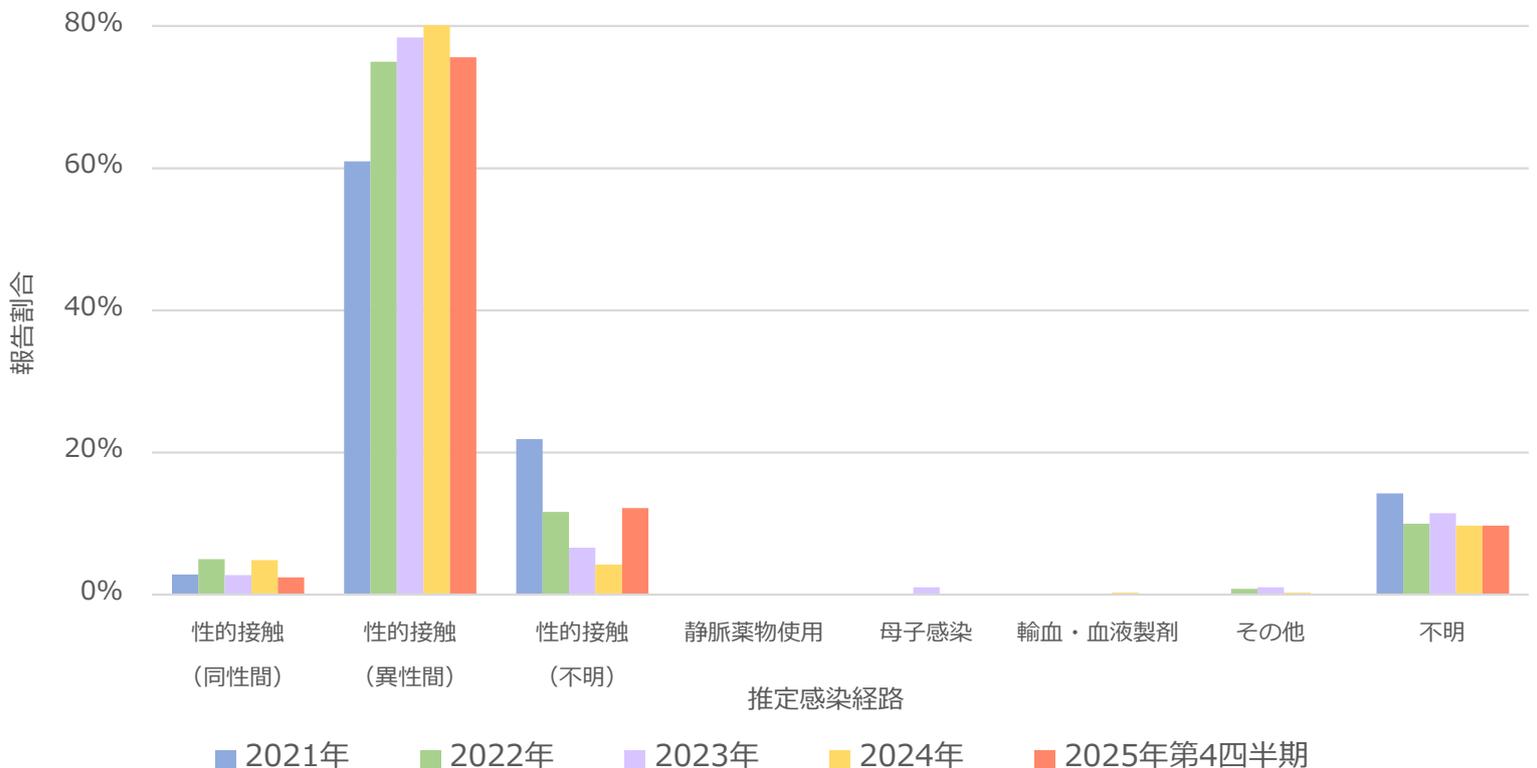
- 2025年第4四半期に報告のあった梅毒症例の感染経路は、男女ともに「異性間の性的接触」が最も多く、同性間の性的接触の女性症例報告が1例あった

茨城県内における感染経路別 梅毒報告数（2025年第4四半期:9/29~12/28）



- 感染経路別報告割合は、いずれの年も「異性間の性的接触」が最も高かった

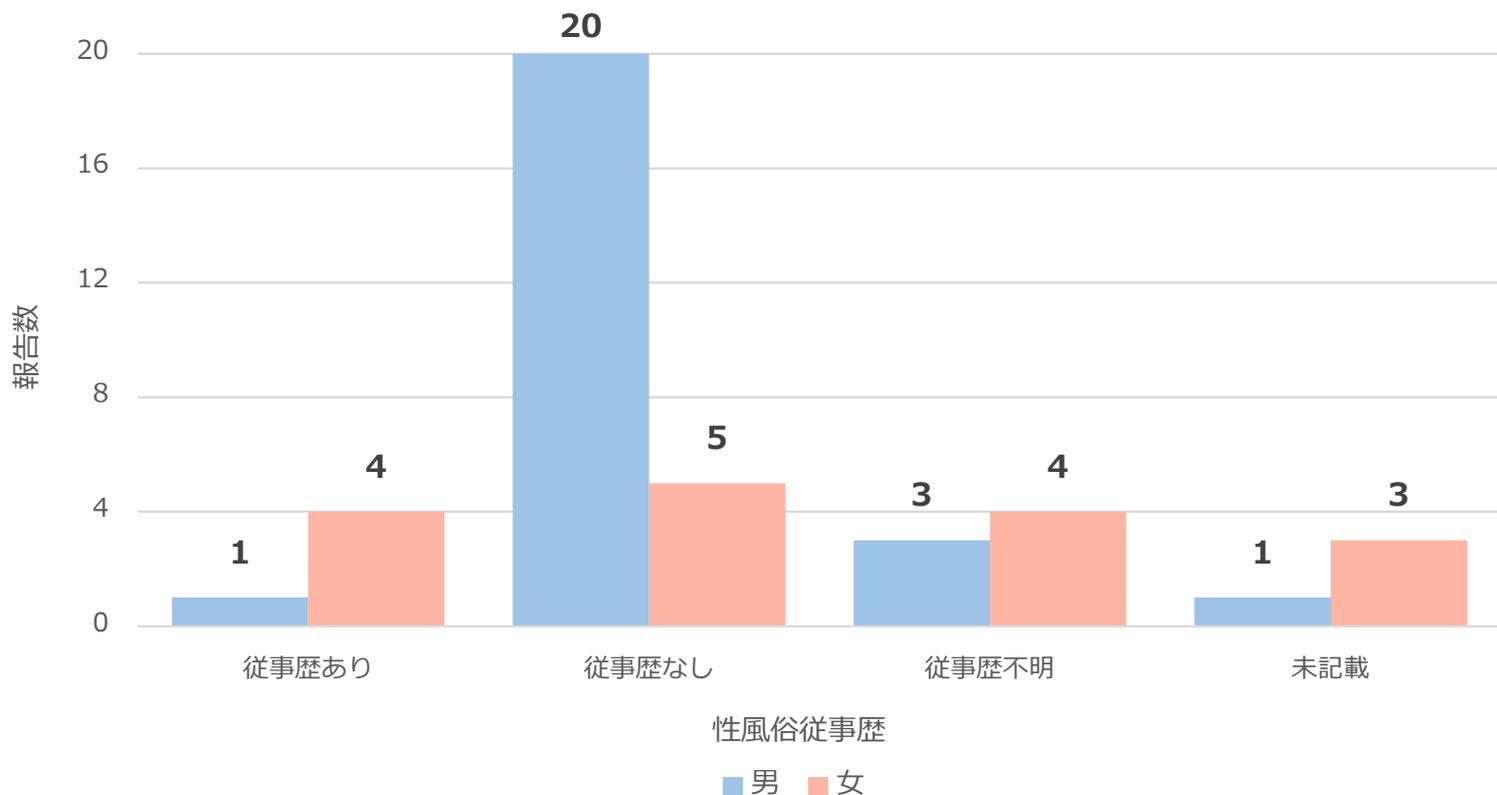
感染経路別 梅毒報告割合（2021年～2025年）



性風俗産業従事歴別 梅毒報告状況

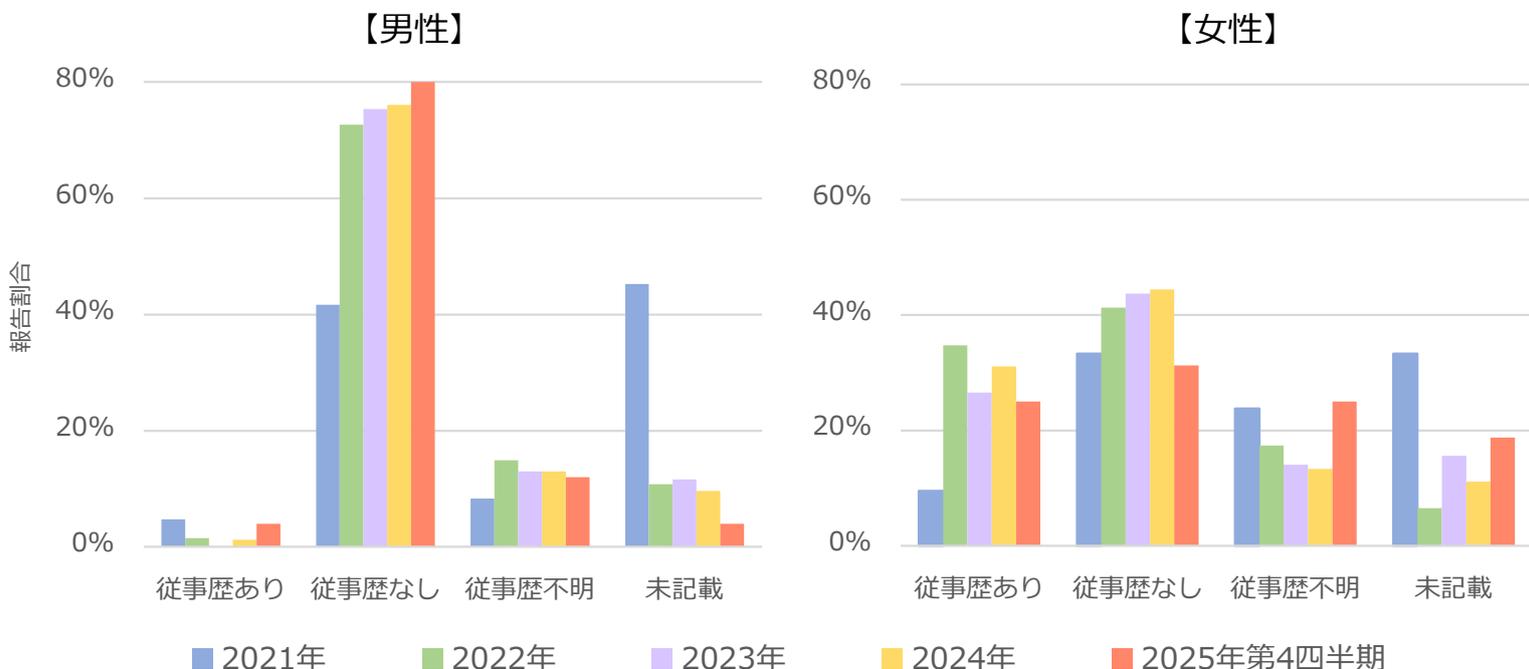
- 2025年第4四半期に報告のあった梅毒症例のうち、性風俗産業従事歴ありの男性は1例（4%）、女性は4例（25%）であった

茨城県内における性風俗従事歴別 梅毒報告数（2025年第4四半期:9/29~12/28）



- 性風俗産業従事歴ありの割合は、いずれの年も女性のほうが高かった
- 2025年第4四半期に報告のあった女性症例は、昨年と比較すると「従事歴不明」「未記載」の割合が高かった

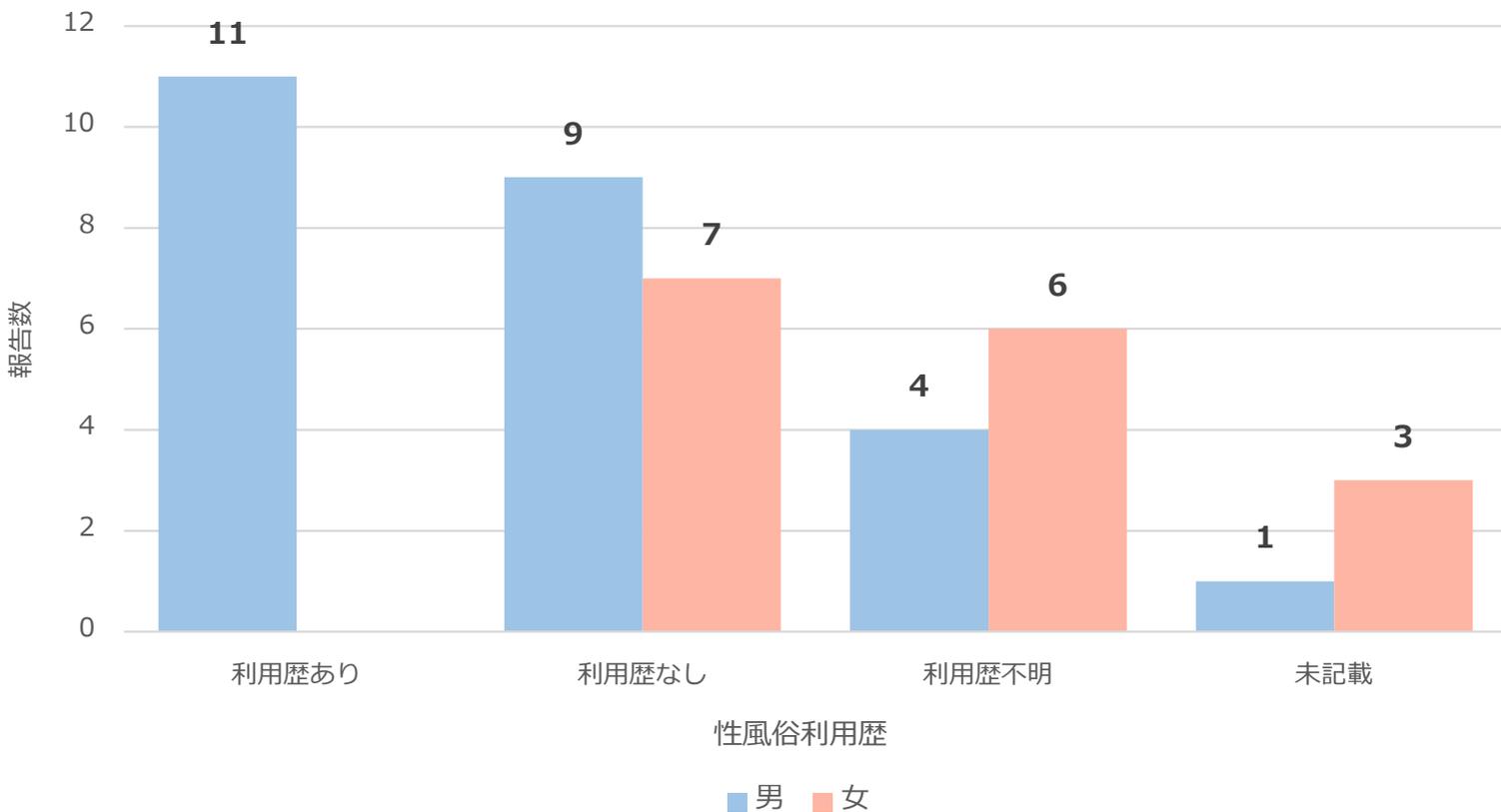
性風俗産業従事歴別 梅毒報告割合（2021年～2025年）



性風俗産業利用歴別 梅毒報告状況

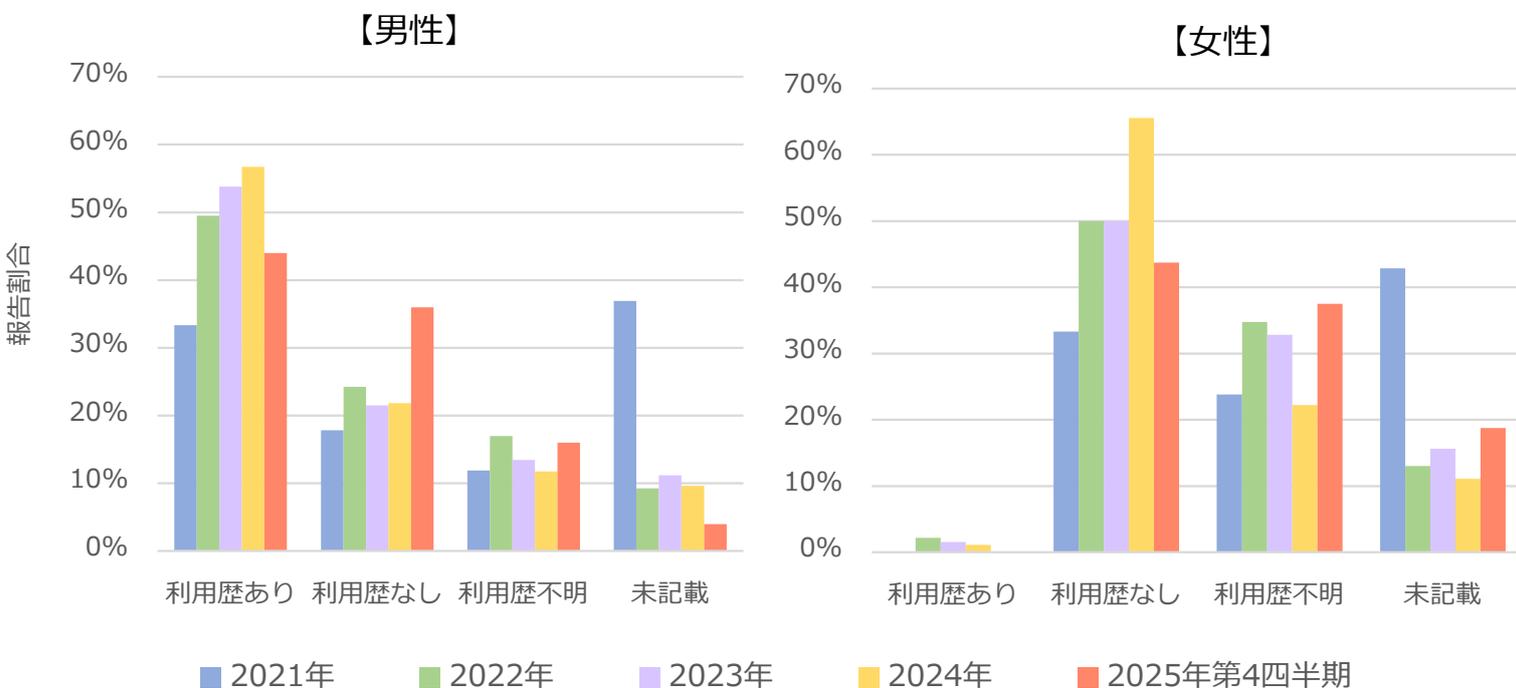
- 2025年第4四半期に報告のあった梅毒症例のうち、性風俗産業利用歴ありの男性は11例（44%）、女性は0例と男性に多かった

茨城県内における性風俗利用歴別 梅毒報告数（2025年第4四半期:9/29~12/28）



- 性風俗産業利用歴ありの割合は、いずれの年も男性のほうが高かった
- 2025年第4四半期に報告のあった男性症例は、昨年と比較すると「利用歴なし」の割合が高かった

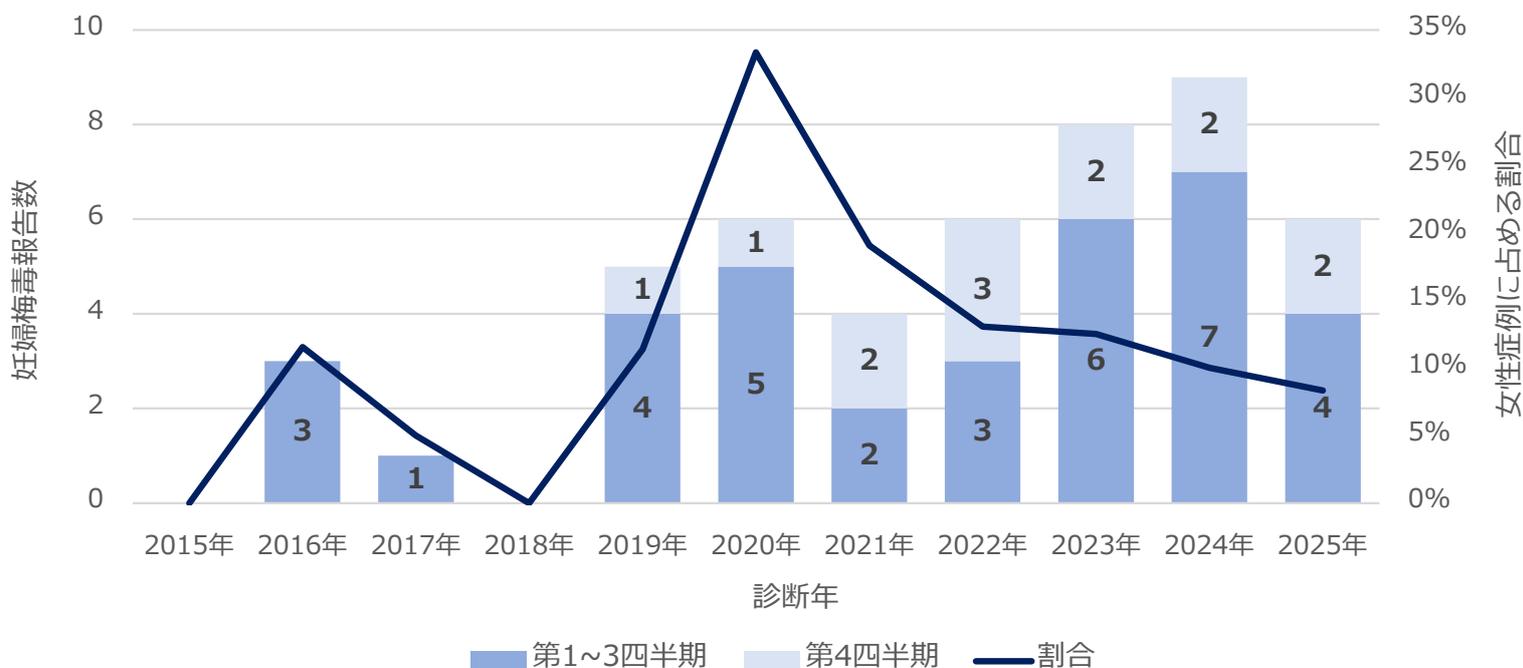
性風俗産業利用歴別 梅毒報告割合（2021年～2025年）



妊婦梅毒

- 茨城県内における妊婦梅毒報告数は、2021年以降増加傾向にあったが、2025年は6例と昨年より3例減少した
- 女性症例に占める妊婦梅毒症例の割合は、2020年以降、減少傾向となっている

茨城県内における妊婦梅毒報告数（2015年～2025年）



- 2015年～2023年3月10日までは、感染症発生動向調査システムに登録された梅毒症例のうち「疾病共通備考欄」または「その他事項」の欄に「妊娠」の記載が含まれるものを抽出
- 2023年3月11日以降は、感染症発生動向調査システムに「妊娠の有無（女性のみ）」の欄が追加となったため、当該欄より抽出

先天梅毒

茨城県内における先天梅毒報告数（2015年～2025年）

